作成日　　2004 年　2 月　4 日
改訂日　　2026 年　6 月　1 日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称　：スクミノン
供給者の会社名称，住所及び電話番号
会社名称　：サンケイ化学株式会社
住所　：〒110-0005　東京都台東区上野 7 丁目 6-11(第一下谷ビル)
担当部門　：開発部
電話番号　：03-3845-7951
ＦＡＸ番号　：03-3845-7950
緊急連絡先　：同上
整理番号　：B - 42
推奨用途及び使用上の制限　：農薬

2. 危険有害性の要約

化学品のＧＨＳ分類

健康に対する有害性	眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	：	区分 2B
	生殖細胞変異原性	：	区分 2
	発がん性	：	区分 1A
	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	：	区分 1(神経系)
	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	：	区分 1(呼吸器、免疫系、腎臓) 区分 2(神経系、肝臓、精巣)

上記に記載がないものは、「区分に該当しない」か「分類できない」である。

ＧＨＳラベル要素

絵表示　：

注意喚起語　：危険

危険有害性情報　：
H320　眼刺激
H341　遺伝性疾患のおそれの疑い
H350　発がんのおそれ
H370　神経系の障害
H372　長期にわたる、又は反復ばく露による呼吸器、免疫系、腎臓の障害
H373　長期にわたる、又は反復ばく露による神経系、肝臓、精巣の障害のおそれ

注意書き　：【安全対策】
P201　使用前に取扱説明書を入手すること。
P202　全ての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
P260　粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
P264　取扱い後は手をよく洗うこと。
P270　この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
P280　保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面等を着用すること。

【応急措置】
P305+P351+P338　眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P337+P313　眼の刺激が続く場合：医師の診察／手当てを受けること。
P308+P313　ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。
P314　気分が悪い時は、医師の診察／手当てを受けること。
P321　特別な処置が必要である(4. 応急措置を参照)。

作成日　2004 年 2 月 4 日
改訂日　2026 年 6 月 1 日

：【保管】
P405　施錠して保管すること。

：【廃棄】
P501　内容物や容器は、当該規則に従い都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託して、適切に廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別　：混合物

化学名又は一般名	含有量
2,4,6,8-Tetramethyl-1,3,5,7-tetraoxacyclooctane (一般名：メタアルデヒド)	10.0%
穀粉、鉱物質微粉等	90.0%

危険有害成分

化学名又は一般名	含有量	CAS No.	化管法管理番号	官報公示整理番号	
				化審法	安衛法
メタアルデヒド	10.0%	108-62-3	―	2-484	2-(8)-378
石英(結晶)	25.7～28.0%	14808-60-7	―	1-548	―

4. 応急措置

吸入した場合　：空気の新鮮な場所に移動し、身体を毛布等で覆い保温し安静に努める。
意識がある場合、多量の水、温水又はうがい薬を用いてうがいをする。
異常が続く場合は、速やかに医師の手当てを受けること。

皮膚に付着した場合　：直ちに多量の水と石けんでよく洗うこと。
異常があれば速やかに医師の手当てを受けること。
作業後は衣服等を交換し、着用していた衣服は他の物と分けて洗濯すること。

眼に入った場合　：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼刺激が治まらない場合は、医師に連絡すること。

飲み込んだ場合　：直ちに医師に連絡すること。
口を水で洗浄する。
意識がない場合は、口から絶対に何も与えないこと。
被災者を病院に連れて行き、医師の手当てを受ける。

5. 火災時の措置

適切な消火剤　：水噴霧、耐アルコール泡消火剤、粉末消火剤、二酸化炭素、乾燥砂

使ってはならない消火剤　：棒状注水

火災時の特有の危険有害性　：粉じんの発生を避ける。
有毒ガスが発生することがある。

特有の消火方法　：速やかに火元への燃焼源を断ち、消火剤を用いて消火する。
容器及び周辺に散水して冷却する。
消火作業は風上から行う。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項，保護具及び緊急時措置
：粉じんの発生を避ける。
漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。
漏出時の処理を行う際には保護具を着用する。

作成日　2004 年 2 月 4 日
改訂日　2026 年 6 月 1 日

環境に対する注意事項　：漏出物を直接に河川や下水に流してはいけない。
河川、養殖池等に流れ込まないように注意すること。

封じ込め及び浄化の方法及び機材
：防爆型の電気掃除機または湿ったブラシにより集め、密封できる容器に回収する。
粉じんを発生させないように留意して回収し、廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い　技術的対策　：「８．ばく露防止及び保護措置」を参照。保護具を着用する。
安全取扱注意事項　：ラベルをよく読む。記載以外に使用しない。
取扱いは換気の良い場所で行い、作業場の換気は十分行う。
取扱場所の近くに、緊急時に洗眼及び身体洗浄を行うための設備を設置する。
屋外での取扱いはなるべく風上から作業する。
取扱いの都度、容器を密閉する。
眼、皮膚、衣類に付けないこと。
保護手袋及び保護眼鏡／保護面／農薬用マスクなどを着用すること。
眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けること。
局所排気・全体排気　：「８．ばく露防止及び保護措置」を参照。
接触回避　：「10. 安定性及び反応性」を参照。
衛生対策　：この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをすること。

保管　安全な保管条件　：食物、飲料等と区別し、火気、直射日光を避け、鍵のかかるなるべく低温で乾燥した場所に密栓して保管すること。
小児の手の届く所へ置かない。
安全な容器包装材料　：国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度
鉱物性粉じん　：E=3.0/(1.19Q+1)
E:管理濃度(mg/m^3)
Q:当該粉じん遊離けい酸含有率(%)

許容濃度
日本産業衛生学会
吸入性結晶質シリカ　：0.03mg/m^3
ＡＣＧＩＨ
結晶性シリカ　：TWA0.025mg/m^3

設備対策　：屋内で取扱う場合には、全体換気装置を設置する。
できるだけ密閉された装置、機器又は局所排気装置を使用する。
取扱場所の近くに洗眼及び身体洗浄のための設備を設ける。

保護具
呼吸用保護具　：農薬用マスク
手の保護具　：保護手袋
眼、顔面の保護具　：保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具　：長ズボン・長袖の作業衣など

9. 物理的及び化学的性質

物理状態　：円筒状粒状
色　：淡褐色
臭い　：特異臭
融点／凝固点　：情報なし

作成日　2004 年 2 月 4 日
改訂日　2026 年 6 月 1 日

沸点又は初留点及び沸騰範囲	：	情報なし
可燃性	：	情報なし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	：	情報なし
引火点	：	情報なし
自然発火点	：	情報なし
分解温度	：	情報なし
ｐＨ	：	5.0～6.0(20%水溶液)
動粘性率	：	情報なし
溶解度	：	情報なし
n-オクタノール／水分配係数(log 値)	：	情報なし
蒸気圧	：	情報なし
密度及び／又は相対密度	：	0.65～0.85(嵩比重)
相対ガス密度	：	情報なし
粒子特性	：	情報なし

10. 安定性及び反応性

反応性	：	通常の取扱い条件下では分解しない。
化学的安定性	：	通常の取扱い条件下では安定。
危険有害反応可能性	：	酸性物質や強い酸化剤との接触は、有毒ガスの発生や、激しい火災の原因になる可能性がある。
避けるべき条件	：	加熱、高温、火花、裸火、湿気
混触危険物質	：	強酸、強アルカリ 、酸化剤
危険有害な分解生成物	：	加熱または燃焼、あるいは酸性物質との接触により、有毒なガスなどを発生することがある。

11. 有害性情報

急性毒性

経口	：	区分に該当しない ラット♂♀：>5000mg/kg マウス　♂： 2820mg/kg、♀： 2295mg/kg
経皮	：	区分に該当しない ラット♂♀：>2000mg/kg
吸入	：	データが不足しているため分類できない。
皮膚腐食性／刺激性	：	区分に該当しない ウサギ　陰性
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	：	区分 2B ウサギ　軽度の刺激性

呼吸器感作性又は皮膚感作性

呼吸器感作性	：	データが不足しているため分類できない。
皮膚感作性	：	区分に該当しない モルモット　陰性
生殖細胞変異原性	：	成分の情報より、区分 2 とした。 (成分) 結晶質シリカ(石英)：区分 2
発がん性	：	成分の情報より、区分 1A とした。 (成分) 結晶質シリカ(石英)：区分 1A

作成日　2004 年 2 月 4 日
改訂日　2026 年 6 月 1 日

生殖毒性 : データが不足しているため分類できない。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)
: 成分の情報より、区分 1(神経系)とした。
(成分)
メタアルデヒド : 区分 1(神経系)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)
: 成分の情報より区分 1(呼吸器、免疫系、腎臓)、区分 2(神経系、肝臓、精巣)とした。
(成分)
メタアルデヒド : 区分 2(神経系、肝臓、精巣)
結晶質シリカ(石英) : 区分 1(呼吸器、免疫系、腎臓)
誤えん有害性 : データが不足しているため分類できない。

12. 環境影響情報

水生環境有害性 短期(急性) : 区分に該当しない
水生環境有害性 長期(慢性) : 分類できない

生態毒性
魚(コイ) : LC50 (96hr) >1000 g/mL
甲殻類(オオミジンコ) : EC50 (48hr) >1000 g/mL
藻類 : EbC50(72hr) 737 g/mL

残留性・分解性 : 難分解性／低濃縮性
生態蓄積性 : なし
土壌中の移動性 : なし
オゾン層への有害性 : 情報なし
その他 : 情報なし

13. 廃棄上の注意

化学品(残余廃棄物)、当該化学品が付着している汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報
残余廃棄物 : 関連法規並びに地方自治体の規則に従い、廃棄物処理業者に処理を委託する等により適切に廃棄すること。
汚染容器及び包装 : 関連法規並びに地方自治体の規則に従って適切に処理を行うこと。

14. 輸送上の注意

国際規制 国連番号 : 該当しない
品名 : 該当しない
国連分類 : 該当しない
容器等級 : 該当しない
国内規制 陸上輸送 : 道路法等の規定に従う。
海上輸送 : 船舶安全法の規定に従う。
航空輸送 : 航空法の規定に従う。
特別の安全対策 : 輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないよう積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
車両、船舶には保護具(手袋、メガネ、マスク等)を常備する他、緊急時の処理に必要な消化器、工具等を備えておく。

作成日　2004年 2月 4日
改訂日　2026年 6月 1日

15. 適用法令

化学物質排出把握管理促進法　：該当しない
労働安全衛生法
名称等を表示すべき危険物及び有害物
：メタアルデヒド
結晶質シリカ
名称等を通知すべき危険物及び有害物
：メタアルデヒド
結晶質シリカ
がん原性物質　：結晶質シリカ(石英)
毒劇物取締法　：該当しない
消防法　：該当しない
船舶安全法　：該当しない
航空法　：該当しない
農薬取締法　：登録番号　第22153号

16. その他の情報

参考文献

- JIS Z 7252：2019　GHSに基づく化学物質等の分類方法
- JIS Z 7253：2019　GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法 ― ラベル、作業場内の表示及び安全データシート (SDS)
- 独立行政法人 製品評価技術基盤機構(NITE-CHRIP)
- 原料SDS

この製品安全データシートは現時点で入手可能な資料等をもとに作成しておりますが、物理化学的性質、危険有害性等に関しては、いかなる保証も成すものではありません。また注意事項は、通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いを行なう場合には自らの責任において用途に適した処置を講ずることが必要であることを理解した上で活用して下さい。